GRACE DESIGN

hello my name is ALiX

gracedesign.com

Instrument Preamplifier / EQ / DI
Owner's Manual Rev. A

GRACE design/ ALiX

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

1. Welcome !

アコースティック楽器専用のプリアンプ/ブレンダー・システムである Felix（フェリックス）のシングル・チャンネル・バージョンが ALiX（アリックス）です。コンパクトなペダルサイズの筐体ながら、驚くほど表現性の高い、ハイエンド・サウンドを実現しています。

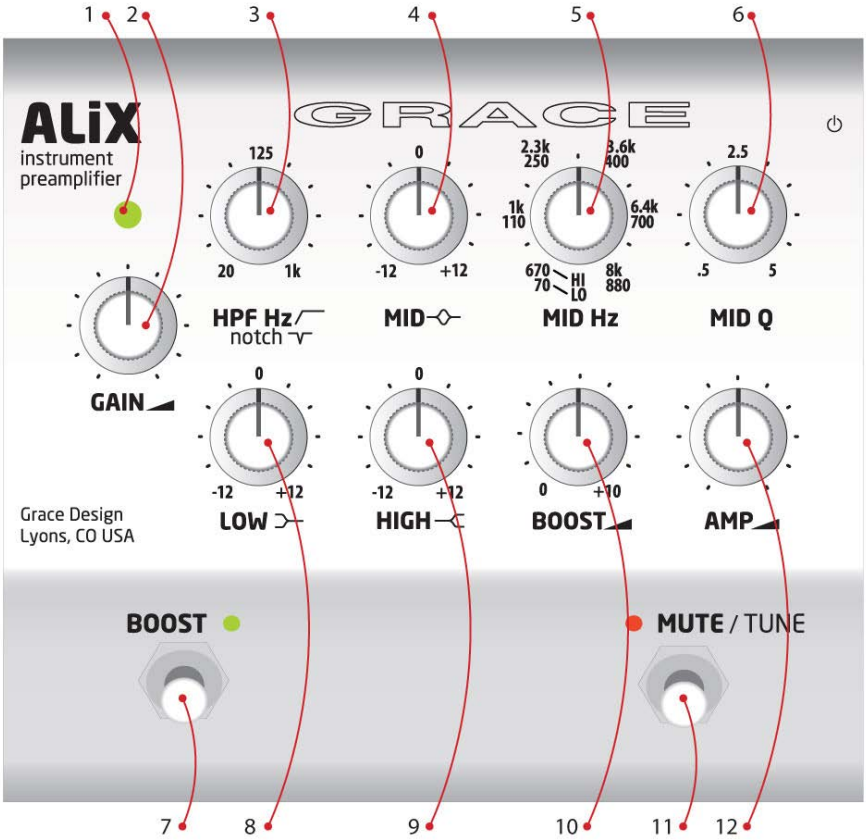
ALiX が持つフレキシブルな性能と機能を理解する事によって、あなたのプレイに対する、最適なセッティングを見つけだすことができます。一度それが判れば、Felix を直観的に使いこなすことができるようになり、本機が驚くほどパワフルで、ユーザーフレンドリーである事に気がつくでしょう。

本説明書を十分に理解して、あなたのアコースティック楽器の鳴りやトーンを、最も自然なサウンドでアンプリファイしてください。

2. Features

■ 繊細な鳴りや響きまで、音の表情の全てを再現できるスタジオ・クオリティのプリアンプを搭載
■ 同社スタジオ用マイクプリアンプ同様のトランスインピーダンスアンプ設計
■ 精巧な 0.5%金属皮膜抵抗を全ての信号パスで使用
■ 徹底した電源/グラウンド設計。業務録音機材と同レベルの静寂な信号パス
■ 高品位、低歪、フルシールド/アイソレート設計の DI 出力
■ ヘビィ・デューティなメタルブッシング 1/4″ ジャック端子
■ パワフルな EQ セクション(Hi/Lo:シェルビング、Mid:フル・パラメトリック)
■ 幅広い設定範囲の Mid EQ セクション（2 レンジ切り替え：70～880Hz /670Hz～8kHz）
■ 20Hz～1kHz の可変式ハイパスフィルター（フィードバック対策にノッチフィルター・モードと切り替え可能）
■ Mute/Tune フットスイッチ（サイレント・チューニング対応）
■ 500mA DC アウトプット搭載。外部 FX ペダルやチューナーを接続可能
■ 10dB の可変式ブースト機能（スイッチでの On/Off が可能）
■ ステージ・アンプへのアンプ出力は個別にレベル・コントロールが可能
■ サイドパネル・コントロール（Mid EQ レンジ, HPF/Notch 選択, 12V マイクパワー）
■ 12V マイク・インプット・パワーに対応
■ 位相反転スイッチ
■ 3 タイプの入力インピーダンス設定（10kΩ 1MΩ 330kΩ）、幅広いピックアップのタイプに最適な設定が可能
■ 外部エフェクトのインサートジャック(TRS)
■ スタンダード＆ユニバーサル AC 電源対応（AC アダプターではありません）
■ 過酷なツアーを想定した業務レベルの耐久性、長年にわたりトラブルなしに使用できる信頼の品質
■ メイド・イン・USA

3. トップパネルのコントロール



【T1】 シグナル/クリップ LED インジケーター

【T2】 GAIN ゲインコントロール

【T3】 HPF/notch ハイパスフィルター/ノッチフィルター

【T4】 MID 中域用イコライザー (ピーキング)カット＆ブースト

【T5】 MID Hz 中域用イコライザー 周波数セレクト

【T6】 MID Q 中域用イコライザー 帯域幅セレクト

【T7】 BOOST ブースト・フットスイッチ

【T8】 LOW 低域用イコライザー (シェルビング)カット＆ブースト

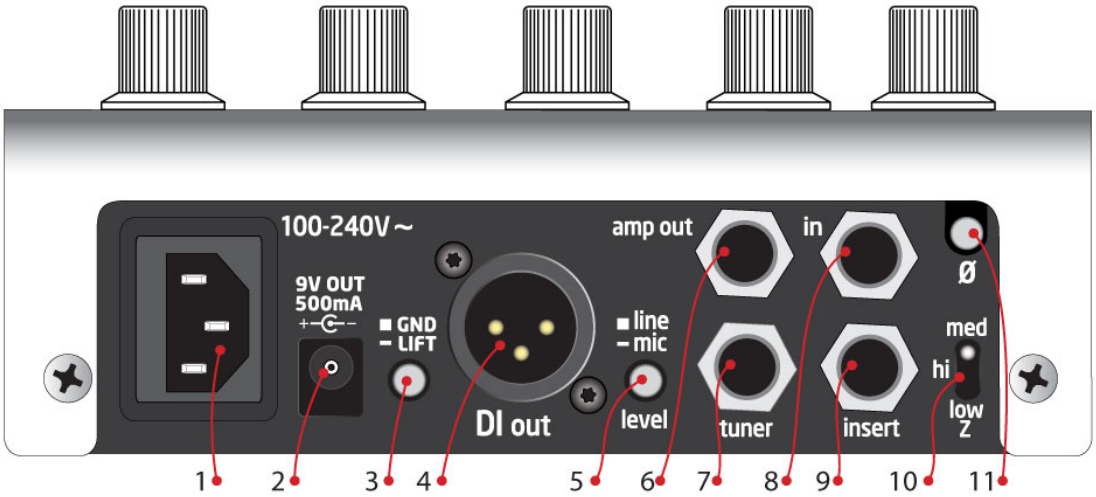
【T9】 HIGH 高域用イコライザー (シェルビング)カット＆ブースト

【T10】 BOOST ブースト・レベル

【T11】 MUTE/TUNE ミュート/チューナー・フットスイッチ

【T12】 AMP アンプ出力レベル

4. バックパネル・コントロール



【B1】 AC 電源コード接続インレット

【B2】 9V OUT 500mA　DC パワー出力（9V、センターマイナス、500mA）

この端子は AC アダプターの出力（アウトプット）です！間違えて外部 AC アダプターを入力しないよう十分にご注意ください！

ALiX は AC 電源で動作いたします！

【B3】 LIFT/GND　グラウンド・リフト・スイッチ

【B4】 DI　OUT　DI 出力端子(XLR)

【B5】 level (line/mic)　DI 出力 ライン/マイク・レベル・セレクト

【B6】 amp out　アンプ出力

【B7】 tuner　チューナー出力

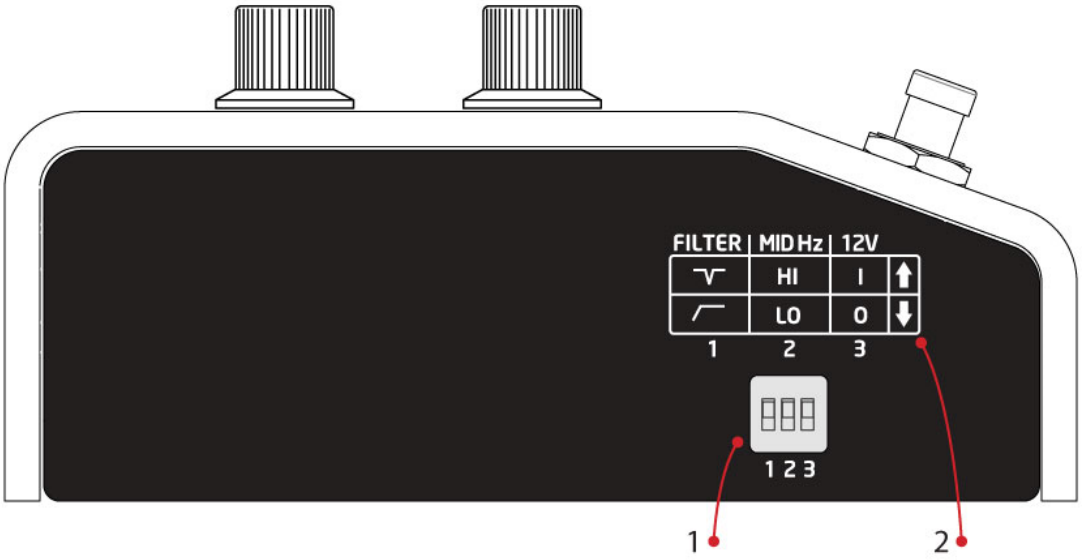
【B8】 in 楽器入力端子

【B9】 insert　エフェクト・インサート端子

【B10】 Z　入力インピーダンス・セレクト・スイッチ

【B11】 ϕ フェイズ・リバース・スイッチ

5. サイドパネル・コントロール



【S1】　DIP スイッチ・コントロール

1：フィルター切替（ハイパス or ノッチ・フィルター）

2：中域 EQ の周波数レンジ切替（Lo= 70Hz ～ 880Hz or Hi= 670Hz ～ 8.0kHz）

3：12V 電源のオン/オフ

【S2】　DIP スイッチ・ダイアグラム

6. ALiX の接続について

【B8】 楽器入力端子

1/4″ フォン端子入力には、楽器用ピックアップ、エレクトレットマイク、ラインソースなどを接続できます。コネクターは標準の 1/4″ アンバランス・フォンプラグ(Tip=シグナル、Sleeve=グランド)をご使用ください。Ring 端子はもし 12V マイクパワーを使用する場合にのみ使用します。

【B9】 エフェクト・インサート端子

例えばリバーブなどのアウトボードや外部エフェクト機器を Alix にインサートする場合に使用します。バッファーされたアンバランスのインサート接続で、インサート・ポイントは Blend セクションと Boost セクションの間です。Alix の最終的な出力信号(EQ やミックスでサウンド調整された信号)に対して外部エフェクトを適応することができ、全ての出力信号にエフェクトを適応できます。1/4″ TRS フォン・コネクターは Tip=センド信号、Ring=リターン信号、Sleeve=グラウンドです。このインサートに利用できる Y ケーブルは弊社で販売する事が可能ですので、詳細はお問い合わせください(後記する ワイヤリング・ダイアグラムもご参照ください)。

またインサートの SEND には PAD を適応する事も可能です(off、-6dB、-16dB)、もしインサートしたいペダルのヘッドルームが低い場合は、内部ジャンパの設定で PAD を設定できます(ジャンパの設定についは後記いたします)。

【B6】 アンプ出力

この出力はアンバランスの出力で、ギターアンプに接続することができます。また他にアンバランスの信号接続をしたい場合にも利用ができます。この出力はフロントパネルの右側の下段にある AMP ノブ【T12】でレベルをコントロールする事ができます。また MUTE フットスイッチ【T11】がアクティブになった場合は、この出力もミュートされます。

【B7】 チューナー出力

アンバランスの出力です。主にチューニング・メーターへの出力となります。MUTE フットスイッチ【T11】がアクティブになった場合でも、この**出力はミュートにならない**ため、ステージ上でのサイレント・チューニングが可能です。フロントパネルの AMP ノブ【T12】のレベルコントロールでレベルがコントロールされます。

【B4】 DI 出力

この出力はトランスフォーマー・アイソレートされたバランス出力です。ALiX の信号を PA のミキサーやオーディオ・インターフェースなどのバランス入力に接続可能です。XLR のピン配列は 2 番ホット(1 番:グラウンド、2 番;コールド)です。

この出力は level スイッチ(line/mic)によってレベル設定されます。例えばステージ上のコネクターボックスに接続す

る場合に、PA 側でマイク入力にパッチされている場合には"mic"側に、ライン入力へ接続される場合には"line"側に設定することで、現場に合わせた最適な出力レベルを選択することができます。

【B1】 AC インレット

ALiX はユニバーサル式の AC パワーサプライで駆動します。ステージ上でのトラブルが多い AC アダプター仕様ではありませんので、安定した設置が可能になります。スタンダードな AC 電源ケーブル（付属）をご利用いただけます。

【B2】 9V OUT 500mA

外部エフェクターなどを使用する際に利用できる 9V DC（センターマイナス）500mA の出力端子です。

この端子は 9V DC の出力（アウトプット）です！間違えて外部 AC アダプターを入力しないよう十分にご注意ください！ALiX は AC 電源で動作いたします！

7. オペレーションについて

ALiX の設置

ALiX は全ての部分で信頼のおけるパーツや設計を施してあります。全てのポットはスチールシャフトでしっかりとフロントパネルに取り付けられています。入出力の為の端子はヘビー・デューティの金属ブッシング仕様で、筐体についても過酷なロードツアーで十分な耐久性を持つよう、細心の注意を払って設計されています。

【B8】 in 楽器/ ライン入力への接続

ALiX に楽器のピックアップ出力を接続する場合に使用します。現在発売されている多くの種類のピックアップ、例えば、アクティブ・エレクトロニックのエレクトリック・ベース、パッシブのアンダーサドル・タイプのピエゾピックアップ、コンタクトマイク、サウンドホールに設置するマグネティック・ピックアップなど・・・ALiX はこれらのどんなピックアップに対しても、ベストなパフォーマンスが得られるプリアンプ設計となっています。

【T2】 GAIN の設定

楽器を入力に接続して GAIN ノブを上げていくと【T1】の LED インジケーターが緑色に点灯します。赤色が付き始める時点で（赤色がたまにフラッシュしている状態）で、クリップする（シグナルが歪む）13dB 手前ですので、時々点滅するくらいの GAIN ではまだシグナルはクリップしていません。赤色にソリッドに点灯してしまうような状態では信号がクリップの状態にありますので、GAIN を小さめに設定してください。

【B10】 インピーダンス・セレクト・スイッチ

楽器入力は 3 タイプのインピーダンス設定が可能です。この設定は大きくサウンドを変化させますので、必ず全てのポジションを試し、自分にあったポジションに設定してください。

med ポジション － 1MΩ
hi ポジション － 10MΩ
low ポジション － 330kΩ

一般的に、多くのパッシブ・ピックアップは、高めのインピーダンス設定が適しているでしょう。アクティブ・ピックアップの場合には少し低めの設定が一般的です。パッシブ・ピックアップは特にインピーダンスの設定に対してセンシティブです（サウンドが大きく変化します）。ご使用になっているピックアップの説明書に推奨の入力インピーダンスの記載があれば、その値に近い設定を選ぶと良いでしょう。設定が異なるからと言って機器に対しては、何らダメージはありませんので、最終的には耳で判断して好みの設定を探すと良いでしょう。適切なインピーダンス設定を行う事で、ご使用のピックアップの性能を最大限に引き出すことができるようになります。

【B11】 位相反転スイッチ

位相反転スイッチが用意されています。PA などで他の楽器の信号とミックスした際に、位相の問題がある場合には、このスイッチを試してみることで改善される場合があります。現場のサウンド・エンジニアからのリクエストがある場合に使用すると良いでしょう。

【フィルターと EQ セクション】

ALiX にはパワフルな EQ/フィルターセクションが装備されています。各イコライジング・セクションの詳細を理解する事で、よりきめ細かなサウンドの表現や、現場での様々な状況に素早く対応することが可能になります。

【T3】 ハイパス・フィルター/ノッチフィルター

GAIN ノブの隣上段のこのコントロールは、サイドパネルにある DIP スイッチの設定によって、HPF(ハイパス・フィルター ＝ ローカット・フィルター)、または Notch(ノッチ・フィルター)として利用できます。

＊ HPF(ハイパス・フィルター ＝ ローカット・フィルター)

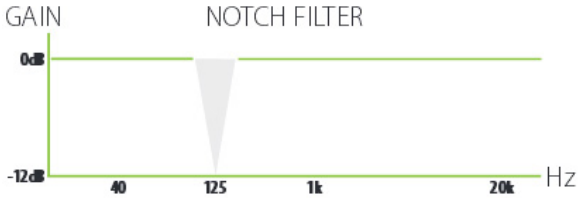
ハイパス・フィルターは設定した周波数より上の帯域だけを通過させるフィルターです。ALiX には、他の GRACE design のレコーディング機器にも採用されている、−12dB/oct の Tompson Butterworth レスポンスのロールオフ設計を採用、パスバンドのフラットさとタイムドメイン・レスポンスのコンビネーションに優れた音質を実現しています。

ハイパス・フィルターは、設定した周波数より低い帯域をカットするフィルター(ローカット・フィルター)とも言い換えることができます。好ましくない低域成分(もごもごした音楽的でない低域)は、音の抜けを妨げる(聴きにくい、演奏しにくい)サウンドになりがちです。例えばマイクをアコースティックギターのサウンドホールに近づけてセッティングする場合などには、不要な低域をカットしてあげることで、とてもナチュラルなサウンドに仕上げることが可能です。

またステージ上で音が回りやすいような場合に、予期せぬハウリングを起こす場合があります、これをカットし調整することでハウリングマージンを稼ぐことができます。ALiX はフィルター帯域のレンジを 20Hz～1.0kHz と、とても幅広く設計したため、あらゆるシチュエーションに対応が可能になっています。例えばフィドルでは低い音は約 200Hz までしか伸びていないため、ピックアップされたサウンドを増幅する際には HPF を 150～200Hz くらいに設定するのが最適です。ベース楽器などでは 30Hz くらいまで帯域が伸びるため、HPF の設定はトーンに影響を与えないよう慎重に設定すると良いでしょう。

もしステージでアコースティックギターを使用する場合には、ローエンドの帯域が回り込みサウンドに悪影響を与えたり、フィードバックを起こしてしまう場合が多くあります。まずは HPF のセッティングでトリートメントを行ってみる事をお勧めいたします。

＊Notch　ノッチ・フィルター

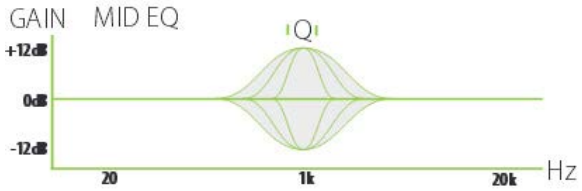


ノッチ・フィルターは大変シャープで深いイコライジングカーブを持ち、特定の帯域だけをカットできるフィルターです。主にステージ上のモニターやアンプの間に起こる、フィードバックのトリートメントに使用します。ALiX では 20Hz ～ 1.0kHz の周波数レンジで、問題となる周波数を幅広く、的確にフィルタリングできるのが特徴です。

もしフィードバックなどの必要とされるトリートメントを必要としない場合には、ノッチフィルターは使用しませんので、サイドパネルの DIP スイッチは HPF(ハイパス・フィルター)側にセットしておくと良いでしょう。また HPF も使用しない場合には、ノブを完全に反時計回り方向に回し切っておいてください。この状態で信号には一切のフィルターは加えられません。

【T4、T5、T6】MID　中域用 EQ コントロール

ミッドレンジの EQ コントロールです。フルパラメトリック式の設計になっており、ゲインと周波数、Q(EQ 幅)を個別に調整することが可能です。



【T4】Gain = +/− 12dB

【T5】周波数レンジ(Lo セッティング)= 70Hz ～ 880Hz

　　周波数レンジ(Hi セッティング)= 670Hz ～ 8.0kHz

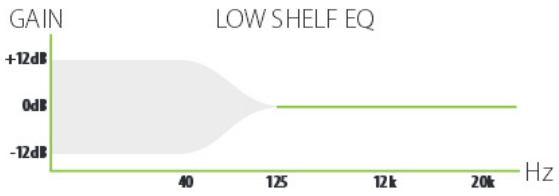
【T6】Q = 0.5 ～ 5

周波数レンジはサイドパネルの DIP スイッチの設定により、Lo と Hi に設定変更が可能です。この DIP スイッチのおかげで、通常のミッドレンジ EQ に比較して、かなり広い周波数に拡大してこの EQ セクションを利用できます。様々なアコースティック楽器や、ピックアップの特性に対して、パーフェクトで適切なイコライジングを行うことが可能にな

るでしょう。
Q 設定ではイコライジングする周波数に対する、バンド幅のシャープネスを調整します。高い Q 設定（ノブを時計回り方向に回した場合）では、より鋭角な EQ カーブで特定の帯域にターゲットを絞ったイコライジングとなります。反対に低い Q 設定（ノブを反時計回り方向に回した場合）では、より幅広い帯域に対してのイコライジングとなります。

【T8】 LOW 低域用 EQ コントロール

低域用の EQ コントロールの周波数は 125Hz(+/− 3dB) コーナー周波数、40Hz ピーク、ゲインレンジは−12dB～+12dB です。この EQ は固定のシェルビング・タイプの EQ です。



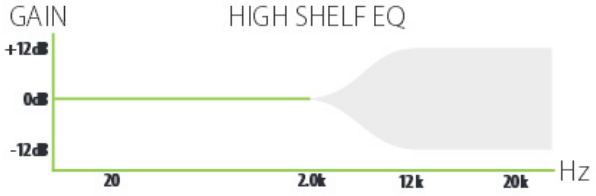
多くのアコースティック楽器に対応させるべく、低域のコントロール・レンジを内部ジャンパの設定で切り替えることができます。内部ジャンパー設定の変更（後記）により、LO 設定=125Hz または設定=250Hz の設定が可能です。

工場出荷時の設定は 125Hz 設定(*2016 年 7 月現在）です。ギターなどでは 250Hz 設定の方が低域へのイコライジング効果が強くなるため、250Hz 設定の方がよりしっかりと低域へのイコライジング効果を実感できると思います。両方の設定を比較し、お好みの設定をご利用いただくことを強くお勧めいたします。

＊ジャンパー設定を行う場合には、ALiX のトップパネルを外す前に、必ず電源コードを抜いた状態にしてから行ってください。

【T9】 HIGH 高域用 EQ コントロール

高域用の EQ コントロールで、2kHz(+/-3dB)のコーナー周波数 /12kHz ピーク、ゲインレンジは-12dB～+12dB です。この EQ は固定のシェルビングタイプで、2kHz 以上に対してブースト、またはカットできます。



【出力セクションのコントロール】

【T7、T10】 Boost ブースト

ブースト・ノブ【T10】が反時計回りに回し切りの時にはブースト・ゲインは 0 です。時計回り最大で+10dB のクリーンブーストとなります。ブーストは全ての ALiX の出力に適応されます。ブースト・フットスイッチ【T7】で効果を ON/OFF できます。

【T11】 ミュート/チューナー・フットスイッチ

このフットスイッチを有効にすると、チューナー出力【B7】を除いた、全ての ALiX の出力(DI 出力と AMP 出力)をミュートします。チューニングを行う場合や、楽器からケーブルを抜き差しする時などに有効活用できます。ミュートが有効な場合には LED が赤く点灯します。

【サイドパネルのコントロール】

【S1】 DIP スイッチ

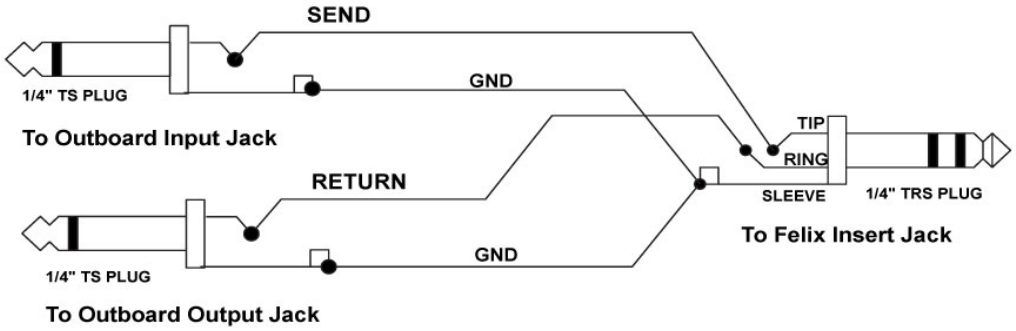
3 個ある Dip スイッチによって ALiX の様々なモードを設定できます。

・**Dip スイッチ#1** – ハイパスフィルター、またはノッチフィルター機能の選択.

・**Dip スイッチ#2** – 中域用イコライザーの周波数レンジの選択

・**Dip スイッチ#3** – 12V パワーのオン、またはオフ

インサート・ケーブルの配線について



内部ジャンパーの設定について

ALiX はいくつかの機能を内部ジャンパの設定で変更することができます。暗い場所や不安定な場所で行うとパーツをなくす可能性がありますので、十分にご注意ください。

1、重要な注意事項！！！

まず始めに ALiX の電源コードを必ず外してください！ALiX 本体から電源コードを完全に外してから、次の項目を行うようにしてください！電源コードを接続したままジャンパ設定を行った場合、本体を破損したり、感電する恐れがあります。必ず AC 電源コードを ALiX から外したうえで、本体の蓋をあけるようにしてください。もちろんケーブルも全て外してから行ってください。不確かな場合には必ずご相談ください。

2、**もう一度確認です！ALiX 本体から電源コード（AC コード）を抜きましたか？AC 電源コードが接続されていない事を再度確認してください。危険ですので必ず電源コードを抜いてから以下の作業を行ってください！**

3、#2 のドライバーで 4 つの筐体を止めているネジを外してください。

figure 1

4、ゆっくりと上側を引き上げてパネルを外してください。上と下のユニットがリボンケーブルでつながっていますので、決して強く引っ張らずに、慎重に外してください。

figure 2

5、別図のジャンパ・ロケーションを参照にして、希望するジャンパ設定を行います

figure 3

6、ジャンパーピンの変更には『帯電防止ピンセット』(または指でも可能)を使用してください。必ずジャンパ設定が正しいか再度ダイアグラムで確認してください。

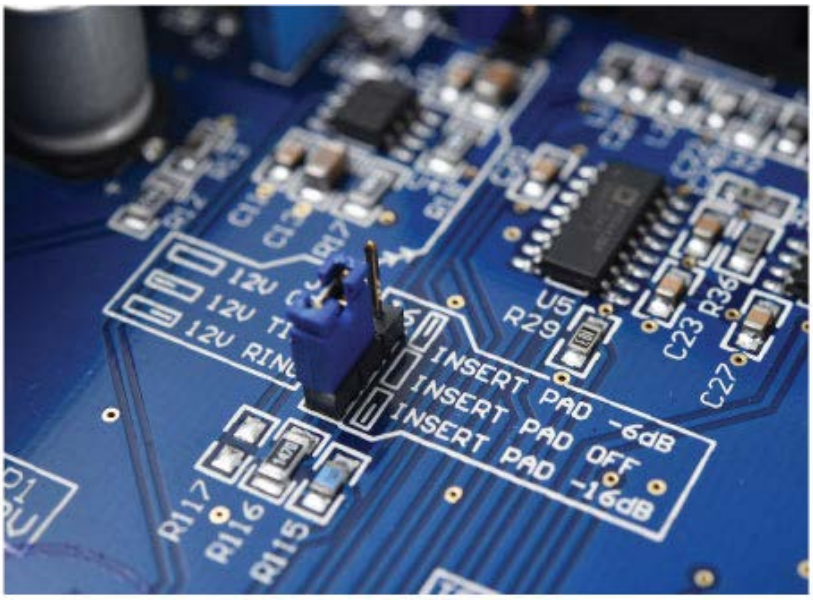


figure 4

7、J10 は 2 ピンのヘッダーです。もしジャンパーなしの設定にしたい場合には、ジャンパピンをピンの片側だけにかけて、2 つのピンを繋がないように設定します。

8、ジャンパ設定が終了したらジャンパが正しくセットされたか確認すると同時に、小さな金属片などが回路に混入していないかを注意深く確認してください。異物が混入すると回路をショートさせて AliX を故障させてしまう場合がございます。

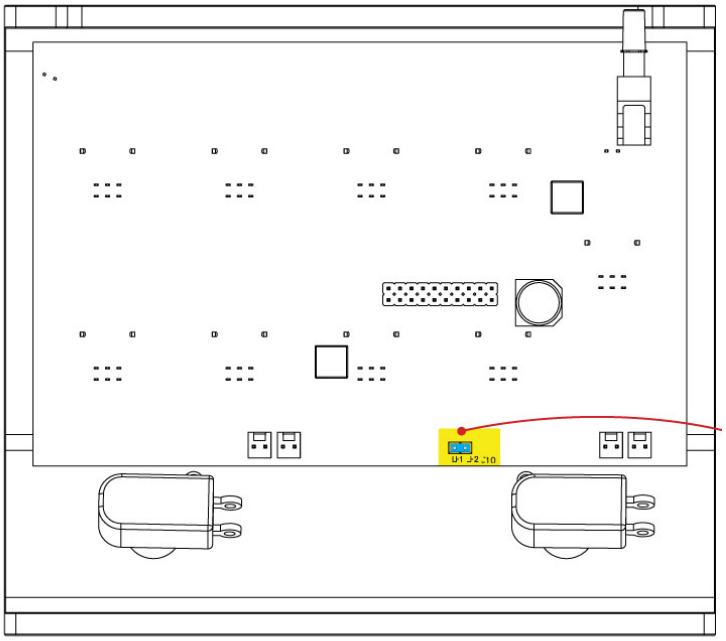
9、リボンケーブルに気をつけてパネルを元に戻します。

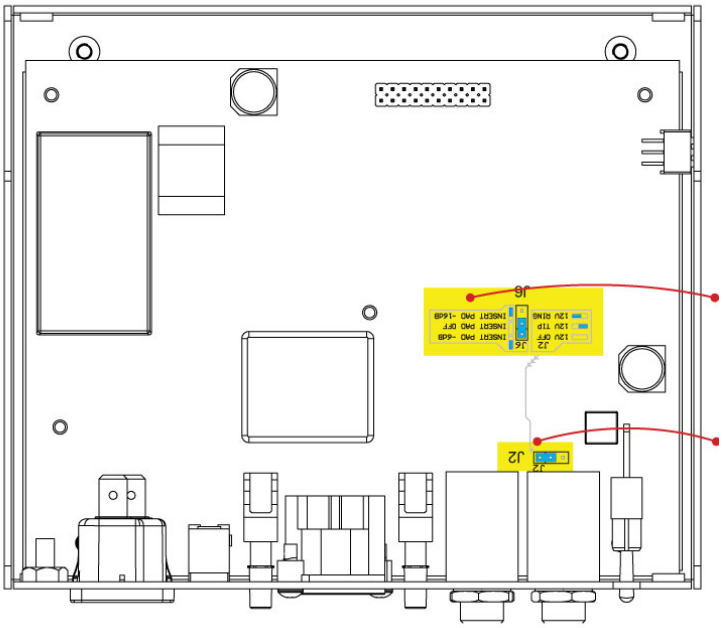
10、4 つのネジを戻します

11、スクリューは締めすぎないように注意してください

もしご不明な点がある場合には、必ず弊社 アンブレラカンパニー までご連絡くださいませ。

ジャンパ・ロケーション





J10 – Low EQ のコーナー周波数をセレクトできます。LO ポジション((ジャンパピンは片方のピンだけにひっかけておいてください、つまり 2 つのピンをコネクトしない状態)に設定すると 125Hz、HI ポジション(ジャンパピンで 2 つのピンを接続します)に設定すると 250Hz にセットされます。

工場出荷時の設定は 125Hz 設定(*2016 年 7 月現在)です。ギターなどでは 250Hz 設定の方が低域へのイコライジング効果が強くなるため、250Hz 設定の方がよりしっかりと低域へのイコライジング効果を実感できると思います。両方の設定を比較し、お好みの設定をご利用いただくことを強くお勧めいたします。

J6 – INSERT 端子の Send 側に PAD を適応できます。OFF、-6dB、-16dB の設定から選択できます。工場出荷時には OFF に設定されています。インサートにエフェクターなどを使用する場合に、送り信号のレベルが大きすぎるような場合にご使用ください。

J2- 12V の電源が必要な場合にこのジャンパを設定します。12V をコネクターの RING に送る、コネクターを TIP に送る、または OFF（工場出荷時）「に設定します。

Q+A

Q: ライブ会場で PA さんにレベルが大きすぎて歪んでしまうと言われる。GAIN は最小にしてもまだ歪んでしまう事がある。

A: ALiX の出力レベルと会場のシステムレベルと合致していない事が考えられます。ALiX の D.I OUT につなぐケーブルが会場のシステムのどこに接続されているかを確認し、ALiX の出力レベルを合わせる必要があります。

ミキサーのラインレベル入力にルーティングされている場合は ALiX の出力レベル切替スイッチ（XLR 端子の右下の押しボタンスイッチ）が押さていない状態の[line]であることを確認してください。

ミキサーのマイクレベル入力にルーティングされている場合は ALiX の出力レベル切替スイッチ（XLR 端子の右下の押しボタンスイッチ）が押された状態の[mic]であることを確認してください。

もし会場システム側で、ライン入力/マイク入力どちらも対応できると言われた場合は、ライン入力をリクエストしてください。ラインレベルの方が、レベルが大きく外来ノイズに強い、ミキサーのヘッドアンプの音質に左右されないため、ALiX のパフォーマンスを最大限に引き出すことができます。

Specifications

GAIN RANGE (Instrument Input to DI Output)	
DI Output, Level: Line	-2dB - 36dB
Amp Output	0dB-39dB
Boost	0dB-10dB
THD+N 22Hz-22kHz BW	
1kHz @ 0dB Gain +10dBu out	<0.0070%
1kHz @ 20dB Gain +10dBu out	<0.0045%
1kHz @ 36dB Gain +10dBu out	<0.0080%
INTERMODULATION DISTORTION - SMPTE/DIN 4:1 7kHz/50Hz	
@ 40dB Gain +10dBu out	<0.05%
FREQUENCY RESPONSE	
Inst input @ 20dB Gain -3dB	20Hz – 65kHz
I/O IMPEDANCE	
Instrument Input	HI: 10MΩ / MED: 1MΩ / LOW: 330kΩ
Insert Input	10kΩ
Insert Output, No Pad	750Ω
Insert Output, -6dB Pad	375Ω
Insert Output, -16dB Pad	122Ω
DI Output	150Ω
Amp Output	150Ω
Tuner Output	150Ω
SIGNAL / PEAK LED METER	
Green threshold	-16dBu
Red threshold	+8dBu
MAXIMUM INPUT LEVEL	
Instrument Input	+20dBu
Insert Return (0dB Boost)	+20dBu
MAXIMUM OUTPUT LEVEL - 100k Ohm load, 0.1% THD	
DI Output (Line)	+19dBu
DI Output (Mic)	-7dBu
Amp, Tuner, Insert Outputs	+21dBu
Insert Output, No Pad	+21dBu
Insert Output, -6dB Pad	+15dBu
Insert Output, -16dB Pad	+5dBu
HIGH PASS FILTER / NOTCH FILTER	
High Pass Filter	20Hz – 1kHz @ -12dB/octave
Notch Filter	20Hz – 1kHz, >-35dB, Q>1.0
EQ	
Gain	+/- 12dB
Low Frequency	Low Range: 125Hz Shelving / High Range: 250Hz Shelving
Mid Frequency	Low Range: 70Hz – 880Hz / High Range: 670Hz – 8kHz
Mid Frequency Q	0.5 – 5
High Frequency	2kHz Shelving
DYNAMIC RANGE 22Hz-22kHz BW	
Minimum Gain, DI Out	118dB
OUTPUT NOISE 22Hz-22kHz BW	
Minimum Gain, DI Output	-99dBu
Minimum Gain, Amp Out	-96dBu
Maximun Gain, DI Out	-77dBu
Maximum Gain, Amo Out	-74dBu
POWER CONSUMPTION	
100-240VAC 50/60Hz	10 Watts Max
POWER OUTPUT	
2.1mm BOSS™ style power jack, center negative	9VDC, 500mA Max
WEIGHT and DIMENSIONS	
2.2lbs (1kg)	H3.0" x W6.2" x D5.5" (H7.6cm x W15.7cm x D14.0cm)

PA 打ち合わせシート

ALiX のパフォーマンスを最大限に引き出すために PA オペレーターの方と打ち合わせ、会場のシステムに合わせて最適なセッティングを行ってください。打ち合わせの要点をまとめましたので PA オペレーターの方とのお打ち合わせにご利用くださいませ。

① PA システムからのファンタム電源は OFF でお使いください。

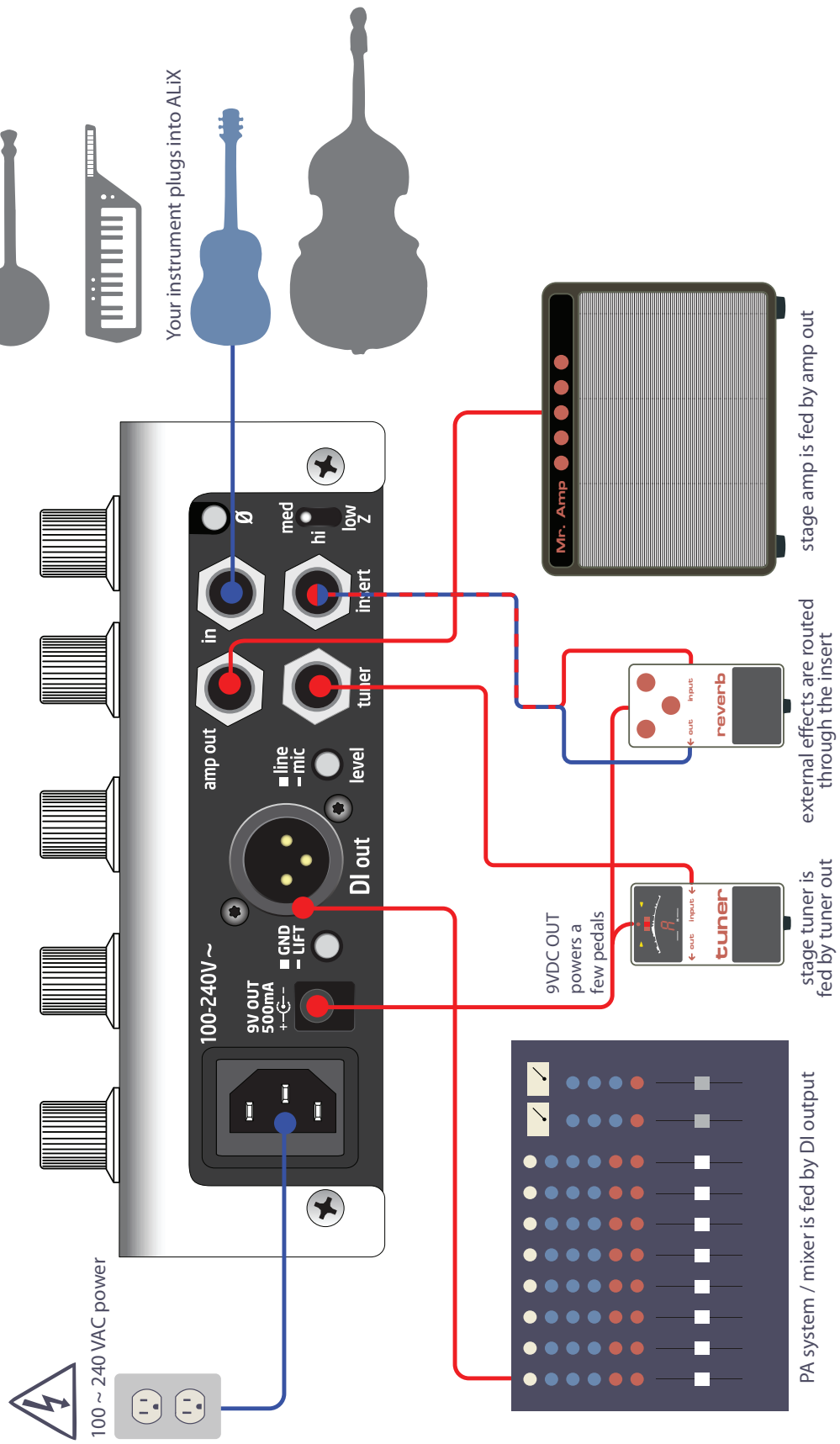
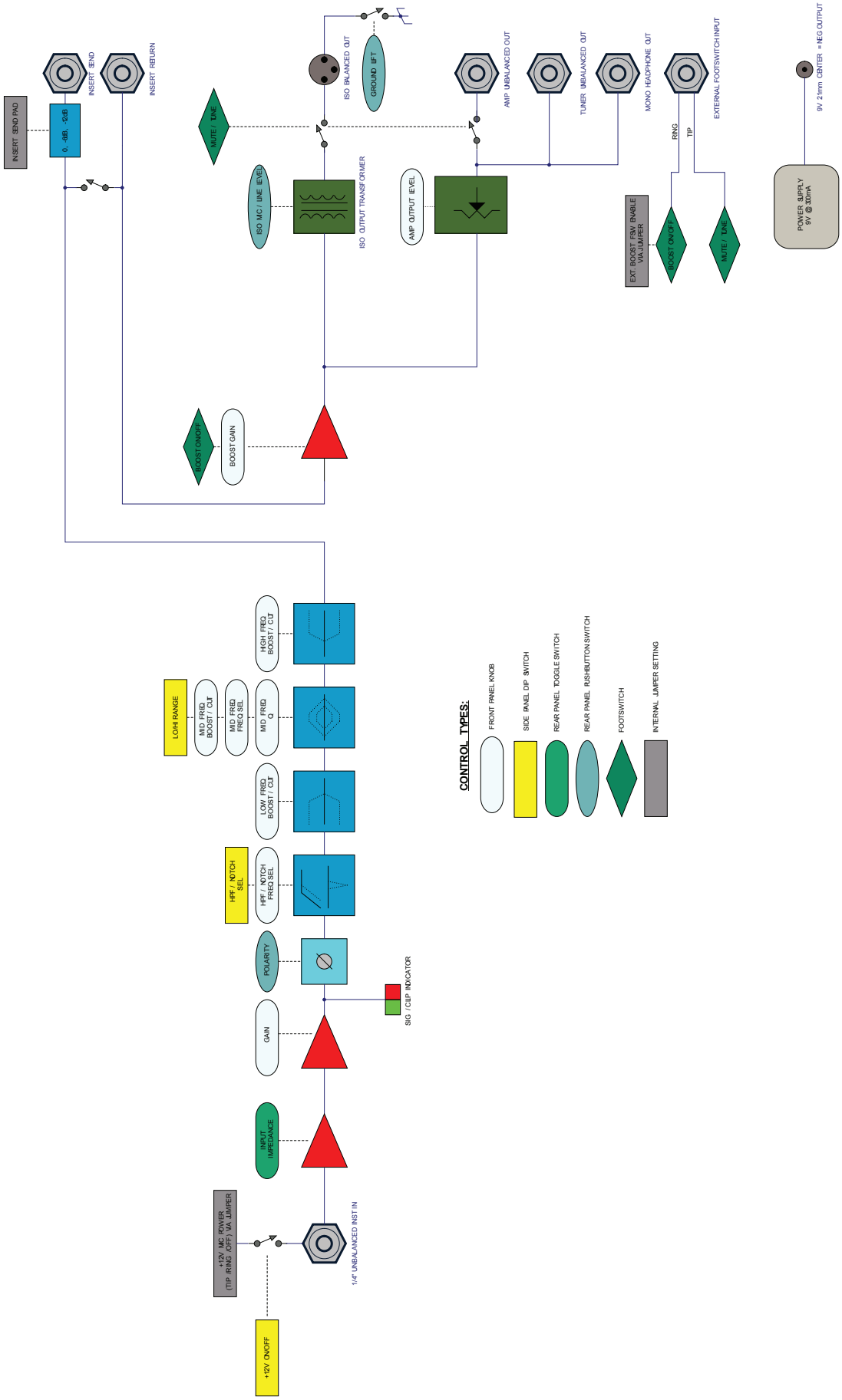
② 出力レベルについて
ALiX の出力レベルは マイクレベル / ラインレベル の切り替えが可能です。
会場のシステムに合わせる事ができます。
サウンドチェックの際に、音が・・・
・大きすぎる・クリップする場合は、マイクレベルに合わせるようご指示ください。
・小さすぎる・SN が悪い場合は、ラインレベルに合わせるようご指示ください。

③ グラウンドリフト
基本的にはスイッチが押された状態[GND]で使用します。異常なハムノイズがある場合はこのスイッチが[LIFT]になっている可能性がありますので確認をご指示ください。

[LIFT]ポジションは、グラウンドループに起因するハムノイズ対策としまして、DI 接続とアンプライン接続など ALiX と PA システム間の経路が複数ある場合は、グラウンドリフトが有効な場合がございます。経路が 1 本の場合は逆にノイズの原因となりますのでご注意ください。

ALiX connections

Nothing too terribly hard and fast here - just the basics about how to plug stuff in and out of your preamp. INPUT paths are shown in blue. OUTPUT paths are shown in red.
There are many ways to setup your preamp, so if you aren't sure about how something works, please have a look at your owner's manual, check out our website - www.gracedesign.com - or feel free to call us. We are always glad to help out in any way we can. 1.303.823.8100, M-F, 9-5 MST



10.2 BLOCK DIAGRAM